

case 07

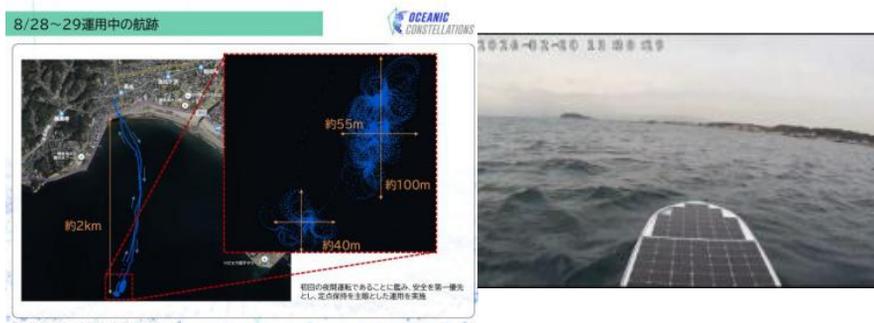
株式会社Oceanic Constellations

プロジェクト名	無人電動ドローン船（USV: Unmanned Surface Vehicle）による海洋監視サービスの確立に向けた実証実験	
企業の所在地	本社：神奈川県鎌倉市御成町8番28号	
企業の事業概要	主な事業は水上ドローン（Unmanned Surface Vehicle=USV）の開発・製造	
実現しようとしているサービス	想定顧客	<ul style="list-style-type: none"> 洋上風力、CCS事業者、国交省、海上保安庁、民間気象会社、関係省庁、自治体など
	想定顧客が抱える課題	<p>【常時監視の体制・環境構築】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在、海洋を監視・調査するプラットフォームは限定的であり、有人船での監視・調査が中心。現在のニーズを鑑みると早急な「ドローン船（無人）による常時監視体制・環境構築」が求められる。
	サービスが提供する価値	<ul style="list-style-type: none"> 水上無人機を長期間/常時滞留させることで、海洋の常時多点センシングサービスを提供し、海洋資源、防災、保安・安全保障に係るサービスを提供。 密漁の継続包括的な監視・抑止を行う。また、従来定量的に把握できていなかった密漁の実態の可視化も実行する。

開発・実証プロジェクトで取り組んだ内容、県内企業との連携	<ul style="list-style-type: none"> 長期間/常時滞留の実証実験（昼夜連続運転） <ul style="list-style-type: none"> ◆ 午後5時から翌朝5時までの昼夜連続運転に成功。国内小型USVでは日本初の成果 ◆ 国交省、海上保安庁本庁・横須賀・湘南全てと連携。指導に従った船体仕様、灯火・旗等の搭載を実現 ◆ 光学カメラ/IRカメラを搭載。夜間でも水上・空中の鳥を検知。夜間の密漁発見が可能であることを確認。また、これらの密漁監視活動が密漁行為の抑止力としても機能するとの関係者からの評価を得た 継続包括的な監視体制の構築（管制室の立ち上げ、マリーナでの運用） <ul style="list-style-type: none"> ◆ 管制室を立ち上げ、水上無人機による監視状況や船体制御の管理が可能な体制を構築（今後の機数増加にも対応可能） ◆ 鎌倉市、漁業組合、地元企業と協定を結んだ鎌倉わつつみプロジェクトの一環として、近隣マリーナと連携した鎌倉沖での実証内容、協業先の拡大を実現（民間マリーナからの国産USVの展開、非対称船型のUSVの実海域運用は本邦初の成果）
------------------------------	---



管制室



実証実験（2025/8/28-29）の様子

<問い合わせ先>

株式会社Oceanic Constellations（担当：松尾）
 WEB：https://www.oceanic-constellations.com/